

# 一般質問

## 代表質問

第12回（2月）定例会では、市長の令和4年度施政方針に対する代表質問が行われ、7つの会派及び無所属の議員から質問がありました。

なお、今定例会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、会議時間の短縮を図るため、一般質問のうち個人質問は行わず、代表質問のみ行いました。



※代表質問は全て「一括質問一括答弁方式（通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式）」で実施しています。

※議員名の下のQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら



## 会 政 志

新年度における

「次の一歩」に向けた市長の決意は

加藤 明子



**問** 施政方針にうたうウィズコロナにおける社会経済活動の再開など「次の一歩」に向けた市長の決意は。

**答 市長** 新年度は、沼津駅周辺総合整備事業など都市基盤整備のほか、防災・福祉・教育など各種事業を推進し、第五次沼津市総合計画の着実な進捗を図るとともに、コロナ禍からの日常生活の回復に向けて、ウィズコロナの視点を踏まえ、引き続き感染拡大防止と社会経済活動の両立を図っていく。また、アフターコロナを見据え、交流人口の拡大に向けたにぎわいづくりや、企業誘致などによる産業振興を戦略的に進めるなど、市民や関係者とともに、次の一歩を踏み出し、誇り高い元気なまち沼津の実現を目指し、全力で市政運営に取り組んでいく。

**問** 令和五年一月に供用開始となる新総合体育館について、①施設の位置づけは。②施設周辺の地域資源と連動させた取組は。③まち全体の活性化としての取組は。

**答 市長** ①本施設は、市民の日常生活からプロスポーツ観戦に至るまで、する・見る・支えるスポーツに対応した県内でも有数な規模を誇る体育館であり、スポーツに限らず、健康づくりの拠点、文化・芸術の拠点、人がつながる交流の場など、多面的な位置づけを有している。

②本施設は、狩野川や香貫山をはじめとする沼津アルプスに加え、中央公園や干本浜など、豊富な地域資源にアクセスしやすい立地環境にあることから、中央公園や狩野川河川敷と本施設を一体としたランニングイベント、沼津アルプスの優れた景観を巡るフォトツアーなど、幅広い年齢層の方々に利用してもらえよう、地域資源と連動させた取組を官民連携で実施していく。③まち全体の活性化のためには、本施設に多くの市民が集うことに加え、周辺エリアとの回遊性を高め、まち全体に波及させていく必要がある。今後は、各施策との連携をはじめ、事業者が検討を進めているレンタサイクルの運営や、中心市街地や沼津港を巡るグルメツアアの開催などを通じ、回遊性の向上に努め、市内外から多くの方に利用してもらえよう、ハード・ソフト両面で着実に準備を進めていく。

**問** 令和四年度における新中間処理施設の整備は。

**答 市長** 現在、新中間処理施設の整備に向けて、基本設計の策定を進めており、令和四年度は、造成工事のための設計など、建設に向けた準備を進め、令和十一年度中の供用開始を目指し、着実に事業の推進を図っていく。